

## 表彰先

- |     |             |                                  |                |                |
|-----|-------------|----------------------------------|----------------|----------------|
| (1) | 信州エコ大賞<br>同 | ・南信州おひさま進歩<br>・農山村を災害から守る会       | 代表理事<br>代 表    | 小林 敏昭<br>山寺 喜成 |
| (2) | 奨励賞<br>同    | ・ヤマンバの会<br>・(株)フォレスト<br>コーポレーション | 代 表<br>代表取締役社長 | 加藤 千砂人<br>小澤 仁 |

## 選考理由

### (1) 信州エコ大賞

[NPO 法人南信州おひさま進歩 (飯田市) ]

当法人は設立以来、廃食油のディーゼル燃料化の実証実験や太陽光発電事業など、エネルギーの地産地消の実現を目指して活動している。太陽光発電普及事業については、当法人を母体におひさま進歩エネルギー有限公司(現在は株式会社)が設立され、全国的なモデル事業として継続されている。当法人は太陽光発電を設置した保育園や公民館などをベースに、再生可能エネルギーや省エネルギーの普及啓発事業などを継続実践している。

また、「百万人のキャンドルナイト in 南信州」の事務局を担うなど、南信州地域での環境保全活動のネットワークにおいて、ハブ的な役割を担っていることは高く評価される。

平成 28 年 5 月には「飯田自然エネルギー大学」を開校し、再生可能エネルギー事業に関する専門知識や実践力を備えた人材の育成にも取り組んでいる。

当法人の多方面にわたる活動は全国的に見ても非常に実践的かつ先進的であり、将来的にも継続発展が期待される。

[農山村を災害から守る会 (辰野町) ]

平成 18 年の豪雨災害を機に、有志が集まって会を結成した。山地災害についての講習会等で基礎知識を習得し、現地調査を行い、結果を住民に公表するとともに、行政のハザードマップに情報を追記作成し、地区の全戸に配布した。さらには「災害に強い森林づくり」に向けて、苗木の育成や植林、下草刈り、生育状況の調査などを行っている。

これらの活動の成果を「土砂災害から農山村を守る」と「美しく災害に強い防災林造成の手引き」の冊子 2 冊にまとめ、行政に提言もしており、その評価は高い。

本件は温暖化による集中豪雨の頻発に備える、緻密な科学的根拠に基づく防災林づくりという適応策であるが、単なる植林ではなく、美しい森林、美しい里山づくりを目指していること、行政に頼らず、防災は住民自身の課題として捉えて事業展開していることも特筆される。

## (2) 奨励賞

[ ヤマンバの会 (上田市) ]

老木・大木の保護を基本として、地域、自然、人々を守る活動を25年間継続している。

地域住民とのつながりを大切にし、子供を対象とした勉強会の開催や、文化財の保護、周知活動等の実施だけでなく、絵本、紙芝居、歌(CD)、彫刻、コカリナなどを製作し、普及啓発活動を広範囲に実践し、取組み意欲は高い。

松くい虫対策の農薬の空中散布中止の働きかけ、枯れ松処理に使用した有害な塩化ビニールの回収作業などの活動は、全国的に模範となっている。

[ 株式会社フォレストコーポレーション (伊那市) ]

長野県産材を使用した(県産材使用率85%以上)、注文住宅販売に特化した建設建業であり、グループで木材産地から住宅建設までを一括管理することで、安定的な生産流通体制を確立し、内製率は90%と高い。関わった住宅の7割以上には薪ストーブが設置され、薪の供給も手掛けるなど、バイオマスエネルギーの活用で里山保全にも貢献している。家づくりの前工程から住まいの完成、アフターケアまでお客様との関りを持つとともに、放置された森林整備の促進、国産材の活用、地元産業の活性化にも寄与している。。